

## 「旧約の信仰者たちの手本」 預言者ダニエル③ (11:32~38)

## ■はじめに

## 1. 手紙の背景と 11 章の内容

- (1) この手紙が書かれた時期は、紀元 64 年から 66 年頃。ユダヤ人の中でローマ帝国に対する反乱の機運が高まる中、愛国主義的な同胞たちから教会に対する迫害が激しさを増していた。一部のユダヤ人信者の中には、迫害を鎮静化するため、いったんエルサレムの神殿祭儀に戻ろうという動きが出始めた。この背教の動きに対して、著者は警告のためにこの手紙を書いた。
- (2) 迫害の中で必要とされるのは、信仰による忍耐。この手紙の 11 章は、信仰による忍耐をテーマにしつつ、旧約聖書に記録された信仰の先輩たちの手本にならおうという内容である。

## 2. 前回までの流れと本日の内容

- (1) 北王国の歴史を概観し、預言者エリヤとエリシャから信仰の手本を学んだ。
- (2) 南王国の歴史を概観し、分裂後の王を 4 代ずつ 4 期に分けて概観した。最後の第 4 期は計 7 人の王が立ったが、世代としては実質的に 4 代であった。
- (3) 第 3 期において 54 年間にわたり活動した預言者＝イザヤ BC740~686
  - ① イザヤは、預言者としての召命を受けたときに、あらかじめ次のように主から語られていた。イザヤの伝える預言を聞いても民は悟らず、預言の成就を見ても目を堅く閉ざすであろう (イザヤ 6:8~10)。
  - ② 人間的な目から見れば、報われることのない 54 年間である。「のこぎりで引かれ」(ヘブル 11:37) とは、第 4 期に入ってすぐ、マナセ王によってイザヤが殺されたことを指す (聖書に記載なし、ユダヤの伝承)。
  - ③ イザヤの信仰の手本とは、まさに忍耐である。
- (4) 第 4 期において 41 年間にわたり活動した預言者＝エレミヤ BC627~586
  - ① エレミヤは、ヨシヤ王の治世第 13 年に預言者としての召命を受けた。ヨシヤ王は 20 歳くらい、エレミヤも同年齢であったと推定される。
  - ② エレミヤは、その後、最後の王となるゼデキヤ王の治世が終わり、エルサレムが陥落する年まで、41 年間、預言者としての務めを果たした。
  - ③ エレミヤの活動を一言でいえば、「あざけられ、むちで打たれ」(ヘブル 11:36)、公衆の前で足かせをかけられて辱めを受けるなど、苦難の連続である。
  - ④ エレ 1:8、17・・・エレミヤは主から「恐れるな。」と命じられていた。主がともにおられ、かならず助け出されると、主の約束を信じ続けた。彼もまた、忍耐の預言者であった。
- (5) 新約聖書で、主の兄弟ヤコブは、次のように語る。「苦難と忍耐については、兄弟たち、主の御名によって語った預言者たちを模範にきなさい」(ヤコブ 5:10)

(6) 旧約聖書に記録された信仰の先輩たちの手本にならおうというこのシリーズ、最後の手本として取り上げるのは、捕囚時代の預言者ダニエル。ダニエルが受けた苦難と彼の忍耐の生涯を通して、信仰の手本を学ぶ。

- ① 第1回は、エレミヤの活動をあらためて振り返りながら、捕囚時代の預言者ダニエルの時代背景を見た。
- ② 第2回は、ダニエルがバビロンの宮廷で高位に着くまでを見た。
  - ダニエルは、バビロニア王国の全州を治める地位にあげられた。同時に、「バビロンのすべての知者たちをつかさどる長官」となった。
  - ダニエルの3人の同僚たちは、ダニエルの願いにより、バビロン州の事務をつかさどることになった。
  - 補足： このように高い位についたとしても、「ユダからの捕虜」(6:13)と呼ばれているように、王の奴隷、王のしもべであった。
- ③ 今回は、ダニエルの3人の同僚たちに焦点を当てる。

□「火の勢いを消した」(ヘブル 11:34) 3人の同僚たち (ダニエル書 3章)

1. ダニ 3:1~7・・・ネブカデネザル王が金の像を造り、バビロン州のドラの平野に建てた。王は、この像を拝むように命令した。
  - (1) 像の大きさ：高さ 60 キュビト=約 26.4m、幅 6 キュビト=約 2.6m
  - (2) 高さ 26 メートル・・・現代のマンションなら 8階建、事務所ビルなら 6階建
2. ダニ 3:8~18・・・3人の同僚たちが、金の像を拝まないことで訴えられた。
3. ダニ 3:19~27・・・3人の同僚たちは、火の燃える炉に投げ込まれた。しかし、天使によって守られ、火は彼らのからだにはききめがなく、その頭の毛も焦げず、上着に火のおいすらしなかった。
4. ダニ 3:28~30・・・ネブカデネザル王の驚嘆と新たな命令。王は、3人の同僚たちをバビロン州で栄えさせた。

□ネブカデネザル王による証言 (ダニエル書 4章)

1. ダニ 4:1~3・・・前書き
2. ダニ 4:4~18・・・王が見た夢
  - (1) 13節「ひとりの見張りの者、聖なる者が天から降りて来て」、17節「見張りの者たちの布告によるもの、この決定は聖なる者たちの命令によるものだ」
    - ① 「見張りの者」や「聖なる者」とは、天使たちを指す
    - ② 24節には「これは、いと高き方の宣言であって」とあるように、天の神の宣

言を受けて、天使たちが伝達する。

- (2) 17 節「いと高き方が人間の国を支配し、これをみこころにかなう者に与え、また人間の中の最もへりくだった者をその上に立てることを、生ける者が知るためである」・・・直訳すると、「生ける者が(次のことを)知るためである。主人は、いと高き方である、人間の国の中で。そのお方は、それを(国を)誰であれ、その方の望む者に与え、人間の中の最も低い者をも引き上げてその(国の)上に立たせる。」
3. ダニ 4:19~27・・・ダニエルによる夢の解き明かし
4. ダニ 4:28~36・・・12 か月後に王の身に起こったこと。きっかけは、高ぶり。
- (1) 人間の中から追い出された・・・34 節を見ると、王が理性を失ったことを指す。その結果、王の顧問や貴人たちは王を追放した(36 節)
- (2) 牛のように草を食べた。そのからだは天の露にぬれた。
- (3) ついに、彼の髪の毛は鷲の羽のようになり、爪は鳥の爪のようになった。
- (4) その期間(七つの時)が終わり、理性が戻った。
5. ダニ 4:37・・・ネブカデネザル王が、神の前にへりくだる。「今、私、ネブカデネザルは、天の王を賛美し、あがめ、ほめたたえる。・・・高ぶって歩む者をへりくだった者とされる」(37 節)。

#### □ダニエル書の構成について

1 章~2 章・・・ダニエルたちが捕囚となり、バビロンの宮廷で高位に着くまで

3 章~4 章・・・ネブカデネザル王が、神の前にへりくだるまで

5 章・・・バビロニアの後継の王は高ぶり、神殿の器で酒を飲み、滅んだ。

バビロニアの最後の王であるベルシャツアル王が登場する。彼は、4 章で布告されたネブカデネザル王の証言を無視して、高ぶって滅びた。その滅亡の経緯が 5 章に記されている。よって 5 章は、内容的には 4 章と一対になっている。

6 章・・・ダニエルは、次のメディア・ペルシヤの治世下でも王に仕え、栄えた

バビロニアを倒したメディア・ペルシヤの初代の王、ダリヨスのときの出来事が 6 章。謀略によりダニエルが獅子の穴に入れられるが、神によって守られたという記事がある。ヘブル人の手紙 11:33「獅子の口をふさぎ」とは、このことを指す。

7 章~12 章・・・4 つの預言を記している。4 番目の預言のあと、ダニエルは死んだ。

## □4つの預言

## 7章の「四頭の獣」

ベルシャツアル王の治世元年、BC553、ダニエルが夢の中で見た幻である。

2章の「4つの国」に対応する預言である。

7:4「鷲の翼を抜き取られ、人間の心が与えられた」とは、4章のネブカデネザル王

## 8章の「雄羊と雄やぎ」

これは4つの国のうち、第二と第三の国についてのより詳しい預言である。国名も明らかにされた。ベルシャツアル王の治世第3年、BC551

## 9章の「7の70」

イスラエルの民とエルサレムが異邦人の支配下に置かれる時(異邦人の時)についての預言。ダリヨス王の元年、BC539

この中に、重要なメシア預言が含まれる。捕囚から帰還してエルサレムを再建せよとの命令が出てから、メシアの初臨までが、7つのセットが69、1つ1年で483年。

そのあとエルサレムと神殿は破壊され、荒廃が続く。世界は戦争を繰り返し、大患難期に至る。

大患難期は、反キリストが登場して滅亡するまでで、その期間は7つのセットが1、すなわち7年。

この預言は、民数記24:17のバラクの預言とともに、バビロンの知者たちに継承され、マタイ2:1~2の記事につながる。・・・イエスがベツレヘムでお生まれになったとき、東方の博士たちがエルサレムにやって来て、こう言った。「ユダヤ人の王としてお生まれになった方はどこにおいでになりますか。」

## 10~12章「大きないくさ」

大戦争と終末に関する預言。クロス王の第3年、BC536

ペルシヤとギリシヤの間での大戦争の預言、ギリシヤの治世下での「卑劣な者」の預言。

卑劣な者は、反キリストの予表である。卑劣な者に関する預言は、11:36から第四の国の時代に移り、大患難期における反キリストに関する預言となる。

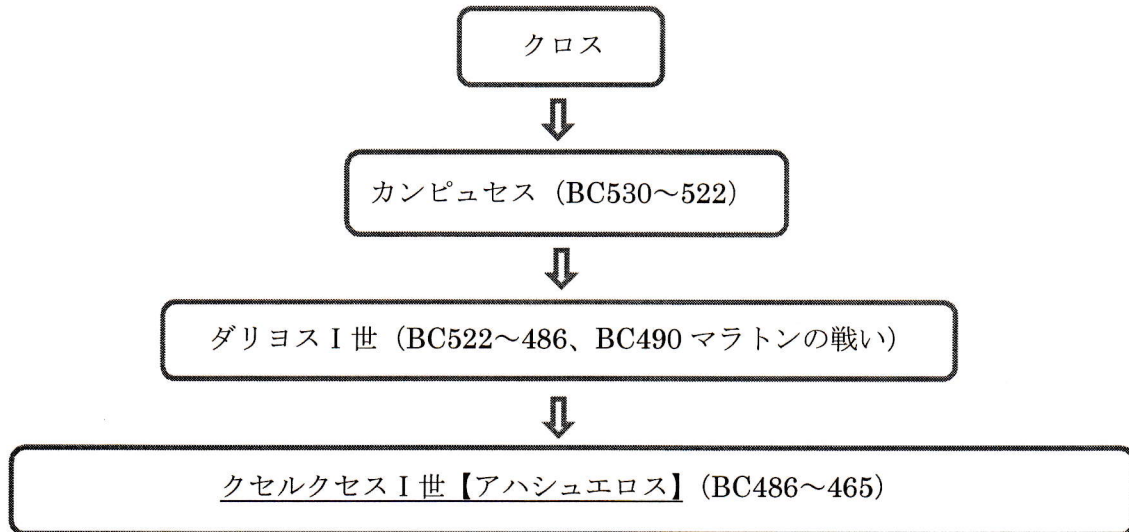
□次回は、5章と6章を見ます。

(表) バビロニヤとペルシヤの王

国	順	王の名	在位期間	聖書関連箇所
バ ビ ロ ニ ヤ	1	ナボポラッサル	BC625 - 605	
	2	ネブカデネザル	BC604 - 562	II列 24・25、II歴 36、エレ 34・39、エゼ 26、ダニ 1~4
	3	エビル・メロダク	BC562 - 560	II列 25 : 27
	4	ネリグリッサロス	BC560 - 556	
	5	ラバシ・マルドゥク	2か月	
	6	ナボニドス ベルシャツアル	BC556 - 539 BC553 - 539	ダニ 5、7 : 1、8 : 1
ペ ル シ ヤ	1	ダリヨス	BC539 - 538	ダニ 5 : 31、ダニ 9
	2	クロス	BC538 - 530	II歴 36 : 22、エズ 1、イザ 45、ダニ 6 : 28、ダニ 10
	3	カンピュセス	BC530 - 522	
	4	ダリヨス I 世	BC522 - 486	エズ 4 : 5、5 : 5~15、ハガ 1 : 1、2 : 1、ゼカ 1 : 1、7 : 1
	5	クセルクセス I 世 (アハシュエロス)	BC486 - 465	エズ 4 : 6、エステル記
	6	アルタクセルクセス I 世 (アルタシャスタ)	BC465 - 424	エズ 4 : 7~23、6 : 14、7 章、 ネヘ 2 : 1、5 : 14
	7	クセルクセス II 世	45 日間	
	8	ダリヨス II 世	BC424 - 405	
	9	アルタクセルクセス II 世	BC405 - 359	
	10	アルタクセルクセス III 世	BC359 - 338	
	11	クセルクセス III 世	BC338 - 336	
	12	ダリヨス III 世	BC336 - 331	

## ダニエル 11:2 の預言 (10:1、クロス王の第3年)

ペルシヤになお3人の王が立ち、第四の者は、国富最大となり、支配下の国々を動員してギリシヤの国に立ち向かわせる。



BC483 ワシュティ廃位 (エステル記 1 章)

BC480 サラミスの海戦

BC479 プラタイアの陸戦 (8 月)、エステル王妃 (2:16、王の治世第 7 年の第 10 の月【テベテ】=冬)

BC473 くじ (プリム) 事件 (3:7, 13)